

ヴォーゲル・カリフォルニア大学教授による講演会を開催

開催日：2019年1月11日(金)

場所：経団連会館

来賓：スティーヴン・ヴォーゲル カリフォルニア大学バークレー校 教授

経済広報センターは1月11日、東京・大手町の経団連会館で「日本経済のマーケットデザイン～日本経済の再成長に求められるものとは」をテーマに講演会を開催し、『新・日本の時代』などの著作で知られるスティーヴン・ヴォーゲル・カリフォルニア大学バークレー校教授の講演を聞いた。経済広報センター会員企業関係者ら約70名が出席した。

冒頭、ヴォーゲル教授は、日本企業が直面する問題点として、労働生産性やROEの低さ、働き方改革の遅れなどに言及。そのうえで、自らの新著『日本経済のマーケットデザイン』（2018年12月に邦訳が出版）に基づき、これらの課題を解決するためには、単純な規制緩和や米国モデルの模倣に走るのではなく、官民の連携をはじめとする日本の制度的な強みを活かしながら日本経済のあり方をデザインしていくことが重要であると説明した。



質疑応答では、イノベーションを促進するマーケットのつくり方、日本型雇用制度の問題点やその解決方法、よりよい官僚制度のあり方などについて幅広い質問が出され、熱心な意見交換が行われた。

以上